

成蹊大学生による

さまざまな「人々」とさまざまな「いかた」を共有する時間

いい場所 いる場所 いきる場所

2023年

7月
17日

[月・祝]

受付開始 13:30 開場 13:45

第1部 公開ワークショップ 14:00～15:00

第2部 アフタートーク 15:30～16:30

参加費

無料（要事前申し込み／申込締切 7月15日 [土]）

会場

吉祥寺シアター

東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目33番22号
JR 中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」
北口下車 徒歩5分

・駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用
してお越しください。（自転車専用の駐輪場有）

対面会場・オンライン配信共に下記 QR コードの事前申込フォームよりお申し込みください。
※必ず、参加を希望されるご本人様がお申し込みください。

※事前の申し込み状況に余裕があった場合は、当日参加を受け付けます。



- ・zoom での同時ライブ配信あり
- ・オンライン配信視聴用の zoom URL は、お申し込みいただいたご本人様のみのご利用とさせていただきます。第三者への共有は固くお断り申し上げます。ご了承ください。
- ・当日は障害のある方への配慮として新型コロナウイルス感染拡大予防対策にご協力ください。ご来場の皆様にはマスクの着用をお願いいたします。また、37.5度以上の発熱のある方は入場をお断りさせていただく場合がございますので予めご了承ください。

あなたが「居たい」と思う場所はどんな場所ですか？

あなたにとっての大切な〈い場所〉、そして今この瞬間に〈いる場所〉・・・

それらはきっと一人ひとりの〈いきる場所〉です。

私たちが他者と関わりを持つとき、そこにはさまざまな「いかた」が存在するのではないのでしょうか。

本成果発表会では、参加型の公開ワークショップを通じて、それぞれの「いかた」を共有する場を創ります。



芸術文化行政コース
公式キャラクター「ベレットくん」

登壇者



長島 確 ながしまかく

ドラマトウルク

舞台字幕や上演台本の翻訳から劇場の仕事に関わり始める。やがて演出家や振付家の創作パートナーとして、ドラマトウルクの肩書で演劇・ダンス・オペラなどのさまざまな現場に参加。劇場のアイデアやノウハウを劇場外に持ち出すことに興味をもち、アートプロジェクトにも積極的に関わる。訳書に『新訳ベケット戯曲全集』（監修・共訳）他。東京芸術祭 FT レーベルプログラムディレクター。東京芸術大学准教授。



酒井 陽子 さかいようこ

特定非営利活動法人ベピータ理事長

特定非営利活動法人ベピータは障害のある方とご家族の健やかな暮らしの実現を使命に、2012年より日中一時支援事業ベピータくらぶと保護者プログラム事業を実施。自身の親4人の介護経験から支援者支援をライフワークに、現職では当事者の親への支援を常に考えている。支援の辛さ緩和に自分の思いや意見を他者に伝えることは有効で、言語以外の様々な自己表現が生きる原動力になると考える。日本社会事業大学大学院前期博士過程修了、介護福祉士、社会福祉士。



大西 健太郎 おおにしけんたろう

ダンサー / パフォーマンスアーティスト

その場所・ひと・習慣の魅力を発掘し出会う過程を通じて「ここがおどる」風景を舞台にパフォーマンス作品を制作する。東京芸術大学大学院 先端芸術表現専攻修了。路上でのダンス・パフォーマンスシリーズ〈風〉、手話をもとにした詩の朗読表現に着想した〈手レよむダンス〉など、ソロ公演。また、こども創作教室〈ぐるぐるミックス〉を主宰。障がい福祉施設「小茂根福祉園」での〈こもね座〉など、他者との協働を契機としたプロジェクトを展開する。



川村 陶子 かわむらようこ

成蹊大学文学部教授

成蹊大学文学部国際文化学科学教授。専門は国際関係論（国際文化関係、文化外交、文化交流・多文化共生）。〈ひと〉の視点からみた、文化でみる・文化でつくる、広い意味での国際関係に関心を持つ。ドイツと日本を主なフィールドとして国際文化関係の運営を研究するかわら、武蔵野市で文化・社会教育・市民活動推進関連の施策や活動にも関わる。博士（学術・東京大学）。主な著書に『国際文化関係史研究』（共編著、東京大学出版会、2013年）など。

成蹊アートプロジェクト

成蹊大学文学部芸術文化行政コースが実施するアートプロジェクトです。成蹊大学と武蔵野市行政、市内の市民文化団体やNPO法人等の官民三者間を本コースの学生が繋ぎ、主体的に企画制作を行うことで、武蔵野市における共生社会の実現を芸術文化の視点から目指します。

成蹊大学文学部芸術文化行政コース

本コースは、官民における芸術文化振興の担い手を育成することを目的とし、2020年4月に開設されたコースです。行政やNPOによる芸術文化振興の実務を学ぶとともに、芸術文化を通じてさまざまな人々が共生できる社会を考えていきます。今回のアートプロジェクトも、芸術文化行政コースの授業の一環として行っています。

「い場所 いる場所 いきる場所」に込めた思い

私達「成蹊大学文学部芸術文化行政コース第2期生」は、性別、年齢、言語、障害の有無に関係なく自分の「居場所」や「いかた（居る方法/手法）」を考えるアートプロジェクトを、アーティストの大西健太郎氏や、NPO法人ベピータ様と協働しました。「いかた」とは、本企画協働アーティストの大西健太郎氏発案の言葉です。特性の異なる「さまざま」な人々が、自分たちなりのやり方で「他者」とともに「いる」場をつくり、それぞれが居心地の良い精神的・身体的距離感を探り、同じ場と時間を共有する方法を意味します。本成果発表会は「公開ワークショップ」と「アフタートーク」の2本立てで開催します。公開ワークショップではそれぞれの「いかた」を造形表現や身体表現を用いて模索する時間を設けます。アフタートークでは舞台芸術や障害福祉の専門家を登壇者として迎え、公開ワークショップの感想をふまえながら、本アートプロジェクト全体に対する振り返りを行います。

特定非営利活動法人ベピータ

NPO法人ベピータは、東京都武蔵野市を拠点に活動する特定非営利活動法人です。障害のある方の「上質な生活」の追求や余暇活動・地域活動の推進、障害のある人とその家族が健やかな暮らしを実現・継続できる社会の実現を目指し、会員同士の情報交換等を図る会合、障害のある人を支援している人の支援、他業種連携による障害を多面的に考える機会の創出などの活動を行っています。

スタジオワークショップ『まむりちょ!』

マム(母)は韓国語で「心」を意味します。カプリチョ(Capricho)はスペイン語で「気まま」という意味で、「形式にとらわれず、作曲家のイマジネーションに従って書かれた作品」という音楽用語でもあります。マム(母)は韓国にルーツがある芸術文化行政コース生による提案です。カプリチョ(Capricho)は、本アートプロジェクトの協働パートナーであるNPO法人ベピータの「ベピータ」(pepita)がスペイン語で果物の種子を意味する言葉であることから、同じくスペイン語の言葉を用いました。互いに想い合う「心」を持ちながら、形式にとらわれず楽しく表現できる場にすることで、1人1人の「いかた」を尊重するという意味が込められています。このスタジオワークショップでは、芸術文化行政コース生とNPO法人ベピータの日中一時支援事業「ベピータくらぶ」の利用者が、言葉を用いずに手によるコミュニケーションを模索しました。アートによる表現を通じた新しい非言語コミュニケーションを創作することで、他者との関わり合いの中で見えてくる自分自身の「いかた」を振り返りました。



ICHIJYOJI THEATRE
吉祥寺シアター

☎0422-22-0911

武蔵野市吉祥寺本町1-33-22

●JR中央線・京王井の頭線吉祥寺駅北口徒歩6分

http://www.musashino.or.jp/k_theatre/

※駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用ください。(自転車専用の駐輪場有)